

日本においての文学の商業的ピークがとうに過ぎたことは周知の事実と思います。

ゆえに、業界全体の足並みは重く、数字と文化の間をもがく出版時代とも言えるでしょう。

その点、このライトノベル×ショートショートは新しいジャンルならではのスムーズで軽やかな切り口が非常に面白い。

お酒ではないですが「五臓六腑に染み渡る」ように心に馴染んでいく感覚がすでにあります。

ライトノベル×ショートショートは、仕事の後やお風呂上り、休日の朝などTPO関係なく楽しみを与えてくれるでしょう。

いま出版業界で注目のライトノベルの要素と文学のダイナミックな様を魅せるショートショートの要素。

ライトノベル×ショートショートは、22世紀アート、文学レボリューションが誇る「究極の大衆文学」です。